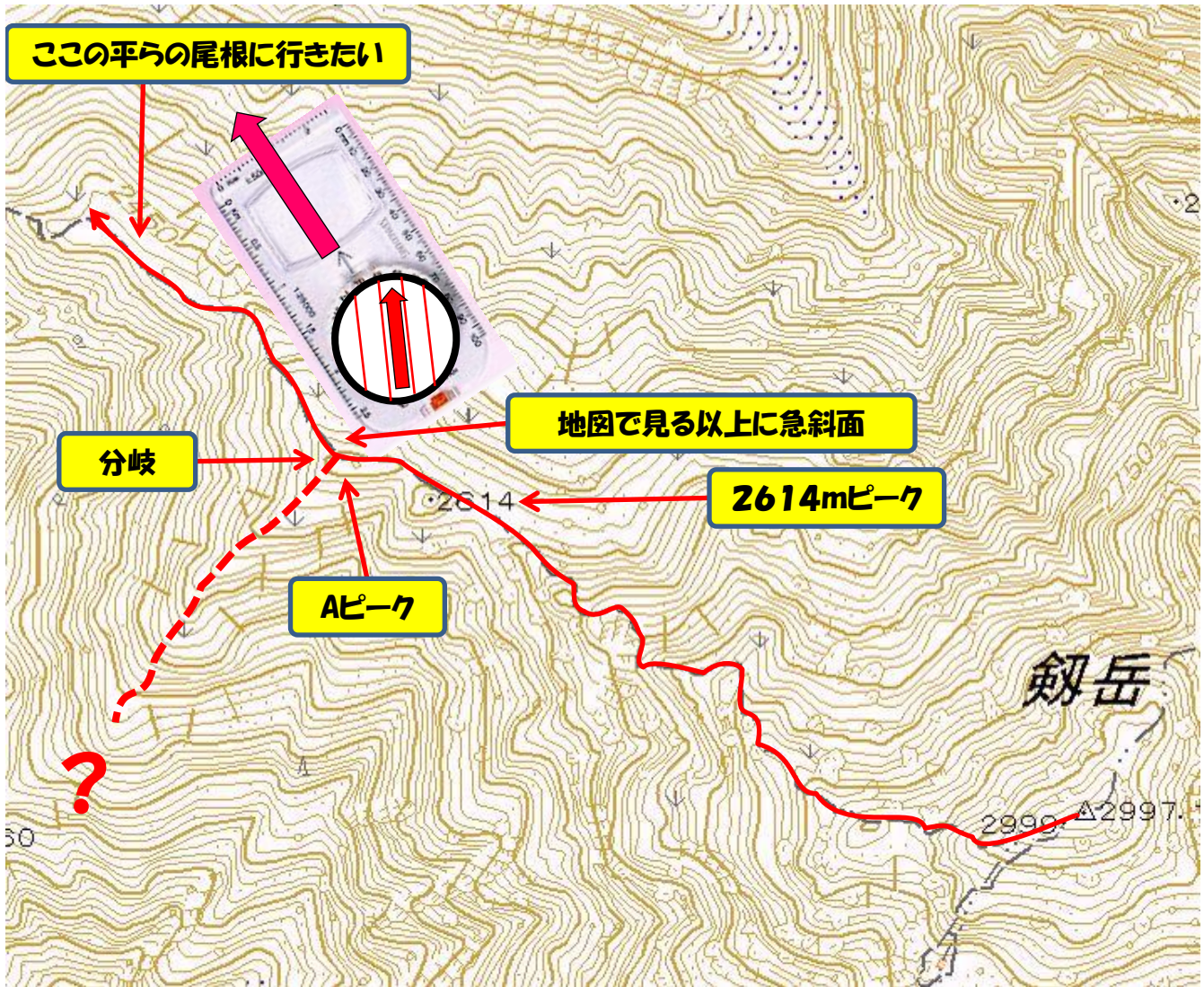


早月尾根:体験談(2000年5月)

天候が悪く10m先が見えにくい。Aピークの分岐で正しいルートが分からず、3つのグループが立ち往生し、先頭の2人のパーティーは迷い尾根の方に進んでいった。私は、2614mピークを確認し、Aピークが現在位置と推測していたが、再度、2614mまで戻り、尾根上にAピークと2614mの二つのピークが存在することを確認。現在位置を確定した。



解説

地図を見ながら下降していたので、2614mピークを確認し、Aピークが現在位置と推測していた。この下降ルートで二つのピークが隣接する箇所はここしかない。

再度、2614mまで戻り、尾根上にAピークと2614mピーク(2614mピークは地図上で見ても丸く尖っているので特徴があり、確認はし易い。)の二つのピークが存在することを確認。現在位置を特定した。次に、コンパスで進行方向を確認した。ガスって進行方向が見えないが、現在位置に自信を持っていたので、下降する方向に迷いはなかった。

Aピークからの下りだしが地図で見る以上に急なため、ザイルで確保をしてもらい下降を始める。1ピッチ下降したところで、ガスが一瞬切れ、進行方向が正しいと推測される目標の平らな尾根が確認された。